

平成27年度(28年3月期) 連結決算概要

1.平成27年度(28年3月期) 決算実績 <対前期>

(1)決算実績のポイント 減収増益：減収は6期ぶり、増益は2期ぶり(当期純利益ベース)。

ガス販売量	△105百万m ³	:高気温影響による家庭用・業務用需要減
売上高	△4,079億円	:原料費調整に伴う単価減により都市ガス売上△3,466億円 :電力等のその他エネルギー売上高△612億円
営業費用	△4,281億円	:ガス原材料費が油価下落影響等により△3,817億円(当期6,995←前期10,812) :電力等のその他エネルギーに関わる費用△601億円
特別損益	△121億円	: (当期) 減損損失△282億円(TGバーネット△128、TGQC△148等)、 投資有価証券評価損△47億円 : (前期) 減損損失△309億円(TGバーネット△230、TGQC△65等)、 固定資産売却益61億円、投資有価証券売却益50億円
配当金		:期末配当金は、1株当たり6.0円といたします(中間配当5.0円と合わせ年間11.0円) :また、410億円・1億株(4.2%)を上限に自己株式取得を実施します

<28年3月末現在連結会社数:連結子会社67社、持分法適用関連会社7社>

(単位:億円)

決算実績表	27年度	26年度	増減	%
ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	15,436	15,541	△105	△0.7
売上高	18,846	22,925	△4,079	△17.8
営業費用	16,926	21,207	△4,281	△20.2
営業利益	1,920	1,717	203	11.8
経常利益	1,888	1,681	207	12.3
親会社株主に帰属する当期純利益	1,119	958	161	16.8

経済フレーム	27年度	26年度	増減
為替レート(¥/\$)	120.17	109.76	10.41
原油価格(\$/bbl)	48.70	90.36	△41.66
平均気温(°C)(※)	16.6	16.0	0.6

(※)お客さまそれぞれの、ご使用期間(前月の検針日から当月の検針日まで)における気温を平均したものとします。

(2)ガス販売量

		27年度	26年度	増減	%	
お客さま件数	千件	11,398	11,263	135	1.2	
ガス販売量	家庭用	百万m ³	3,365	3,482	△117	△3.4
	業務用	百万m ³	2,678	2,750	△72	△2.6
	工業用	百万m ³	7,233	7,235	△2	△0.0
	計	百万m ³	9,911	9,984	△73	△0.7
	他事業者向け供給	百万m ³	2,161	2,074	87	4.2
合計	百万m ³	15,436	15,541	△105	△0.7	

家庭用 :冬場の高気温影響等により給湯・暖房需要が減少
 業務用 :冬場の高気温影響等により給湯・暖房需要が減少
 工業用 :ほぼ前期並み
 他事業者向け供給 :供給先事業者の需要増

(3)セグメント別売上高・セグメント利益

(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	27年度	26年度	増減	%	27年度	26年度	増減	%
都市ガス	12,943	16,409	△3,466	△21.1	1,920	1,571	349	22.2
器具及びガス工事	2,115	2,049	66	3.2	8	30	△22	△70.8
その他エネルギー	3,470	4,082	△612	△15.0	293	305	△12	△3.9
(電力)	1,248	1,658	△410	△24.7	93	224	△131	△58.5
不動産	255	259	△4	△1.6	51	43	8	17.5
その他	2,041	2,262	△221	△9.8	118	195	△77	△39.4
(海外)	301	405	△104	△25.6	18	107	△89	△82.4
調整額	△1,979	△2,137	158	—	△472	△428	△44	—
連結	18,846	22,925	△4,079	△17.8	1,920	1,717	203	11.8

(注)セグメント別売上高には事業間の内部取引を含んでいる。セグメント利益の調整額の主なものは各セグメントに配賦していない全社費用。

(4)主要計数

(単位:億円、%)

	27年度	26年度	増減		27年度	26年度	増減
設備投資	2,320	2,245	75	D/Eレシオ	0.65	0.68	△0.03
営業キャッシュ・フロー	2,571	2,376	195	ROA	5.0	4.3	0.7
有利子負債	7,157	7,307	△150	ROE	10.3	9.2	1.1

2.平成28年度(29年3月期) 業績予想

(1)通期見通しのポイント 対前期 減収減益(当期純利益ベース)

ガス販売量	+162百万m ³	:平均気温を平年並みとしたことによる家庭用・業務用の増等
売上高	△3,036億円	:原料費調整に伴う単価減により都市ガス売上△2,715億円 他
営業費用	△1,596億円	:ガス原材料費が原油価格の下落影響等により△2,034億円 他
営業利益	△1,440億円	:前年度におけるスライドタイムラグ(注)の解消△880億円 :年金数理差異の増△220億円、減価償却費の増△200億円
特別損益	+400億円	: (当期) 資産売却益70億円 : (前期) 減損損失等△330億円

(注)原油価格の下落に伴う原材料費の減少が売上高の減少に先行することによる一時的な利益増

		28年度	27年度	増減	%	28年度2Q	27年度2Q	増減	%
ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)		15,598	15,436	162	1.0	7,175	7,184	△9	△0.1
売上高		15,810	18,846	△3,036	△16.1	7,180	9,014	△1,834	△20.3
営業費用		15,330	16,926	△1,596	△9.4	6,920	7,913	△993	△12.6
営業利益		480	1,920	△1,440	△75.0	260	1,100	△840	△76.4
経常利益		400	1,888	△1,488	△78.8	220	1,070	△850	△79.4
親会社株主に帰属する当期純利益		350	1,119	△769	△68.7	160	806	△646	△80.1

(単位:億円)

経済フレーム	28年度	27年度	増減
為替レート(¥/\$)	115.00	120.17	△5.17
原油価格(\$/bbl)	37.50	48.70	△11.20
平均気温(°C)	15.8	16.6	△0.8

原油価格(\$37.50/bbl)は上期\$35/bbl、下期\$40/bblの平均値

為替・原油変動影響感度(4Q)	売上高	原料	営業利益
円・ドルレートが¥1/\$円安	28	35	△7
原油価格JCCが\$1/bbl上昇	52	69	△17